

中国

貿易統計 (2021年1-2月)

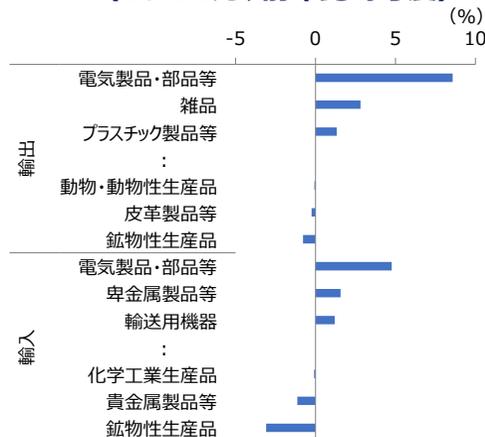
世界貿易で高まる中国の存在感

政策・経済センター
橋本 拓摩
03-6858-2717

1 輸出入

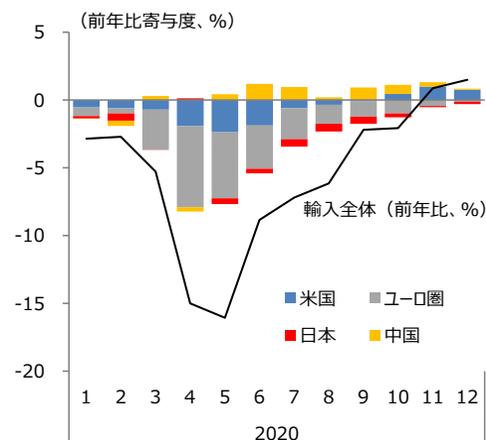


資料：CEICより三菱総合研究所作成

2 輸出入の品目別増減
(10-12月、前年比寄与度)

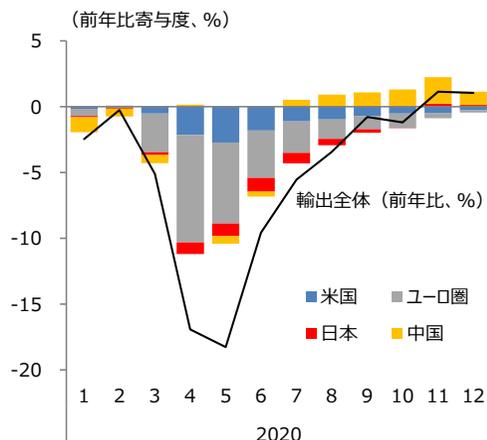
資料：Windより三菱総合研究所作成

3 世界貿易量指数 (輸入)



資料：CPBより三菱総合研究所作成

4 世界貿易量指数 (輸出)



資料：CPBより三菱総合研究所作成

評価ポイント

今回の結果

- 21年1-2月の輸出 (ドル建て) は、前年同期比+60.2%の大幅増となった (図表1)。米国向けが同+87.3%、EU向けが同+62.6%と、欧米向けの回復が顕著となった (ASEAN向けは同+53.0%、日本向けは同+47.9%)。
- 輸入も同+22.1%増加したが、輸出の大幅増加を受けて貿易黒字は1,033億ドルに拡大した。うち、対米国の貿易黒字が513億ドルと過半を占めている。
- 1-2月の品目別詳細データが出揃うまで後日の発表を待つ必要があるが、10-12月の輸出入の品目別増減をみると、輸出では、世界的なリモートワークの拡大などを支える電気製品・部品等の輸出が引き続き好調だ (図表2)。これらの製品を中心に、1-2月も欧米向け輸出の伸びが拡大した可能性が高い。
- 輸入も電気製品・部品等が増加している。1-2月も世界的に不足している半導体の在庫積み増しの動きが増加の一因となっている模様だ。

基調判断と今後の流れ

- 生産停止となった前年同期からの反動、さらに今年は2月の春節連休中における帰省自粛の影響から、中国の多くの企業が操業を続けたことで輸出が上振れた傾向にあったという特殊要因を割り引いても、輸出は高い伸びとなったといえる。
- とりわけ欧米向けを中心に輸出が大きく拡大している。これらの地域における財政政策の影響により、中国製品の輸入増をもたらしている可能性がある。
- マスク等の繊維製品や電気製品などの20年の特需は剥落し減速するも、世界需要の緩やかな回復を受けて、中国の輸出は21年も底堅く推移すると見込む。
- オランダ経済政策分析局による世界貿易量指数をみると、20年はコロナ禍で世界的に輸入が落ち込む中、感染拡大を抑制し、主要国で唯一プラス成長を維持した中国が世界の輸入を下支えした (図表3)。
- 輸出の貿易量指数をみても、中国の輸出は20年7月以降、前年比プラスで寄与するなど、世界貿易における中国の存在感の高まりがうかがえる (図表4)。